

# A-11 からし萘のアントシアン色素

奈良女大家政 〇諏訪紀子 河本孝子 浜口陽一

目的 からし萘の紫紅色を示す色素成分については明らかにされてはいない。色素成分にはアントシアン色素が認められ、この色素成分を単離、結晶化、同定を試みたのでその結果を報告する。

方法 本学内で栽培したからし萘の葉を0.5%塩酸-水で冷浸、抽出し、抽出液を集めて減圧濃縮後、イオン交換樹脂、セルロースパウダーによるカラムクロマト法による分別、さらにマスパークロマト法による分別の後、結晶化して、呈色反応、 $R_f$  値、吸収スペクトル、加水分解などを行なって同定させた。

結果 からし萘にはペーパークロマトグラフ法により少なくとも4種のアントシアン色素が認められた。得られた結晶のうち1種は標準と  $R_f$  値が一致すること、加水分解によりシアニジンとグルコースを生成すること、呈色反応、部分加水分解、吸収スペクトルなどにより、シアニジン-3,5-ジグルコサイドであることを認められた。